

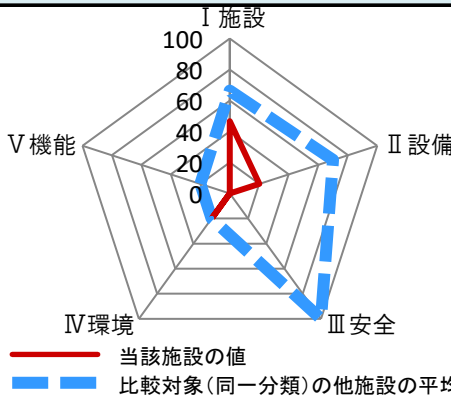
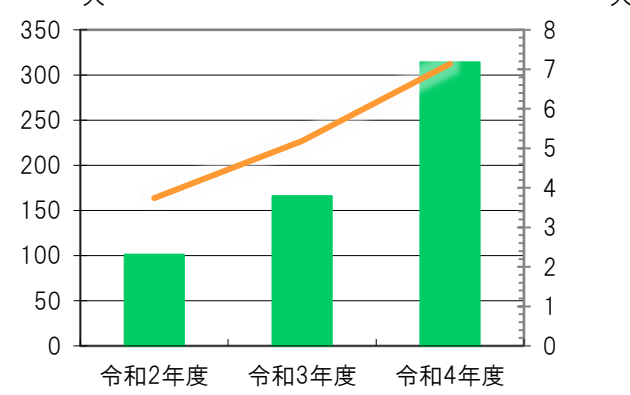
施設カルテ（評価シート）

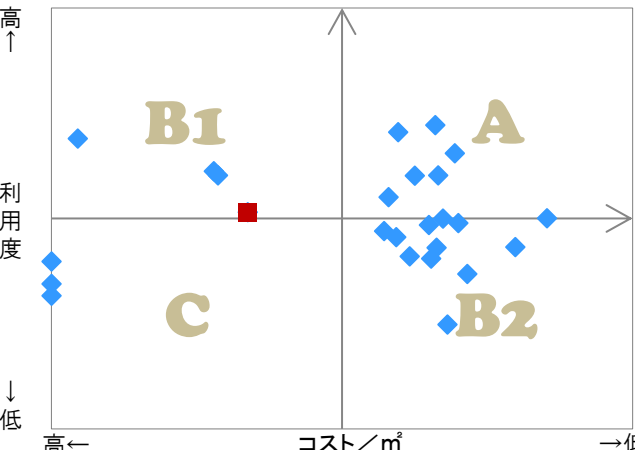
南部第7分団

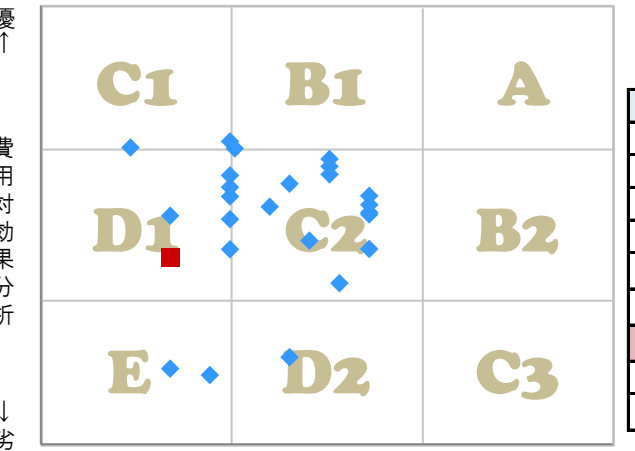
施設番号 117

令和 5 .3.31時点

Ⅰ．施設情報・代表建物の情報				
施設基本情報	施設名称	南部第7分団		
	代表所在地(地番又は住所)	野894-1	代表建築年度	S53 ( 1978 ) 年度
	所管課	消防本部	構造・階層	W・2階建
	大分類(類型)	行政系施設	経過年数	44 年
	中分類(機能)	消防施設	敷地面積	244.10 m <sup>2</sup>
	配置形態・管理形態	単独   直営	延床面積	57.96 m <sup>2</sup>
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	借地
	借受面積(賃借の場合)	- m <sup>2</sup>	借地面積(借地の場合)	244.10 m <sup>2</sup>
	避難所指定の有無	なし	駐車可能台数	5 台

Ⅱ. 施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある			
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)			
 <p>Ⅰ 施設</p> <p>Ⅱ 設備</p> <p>Ⅲ 安全</p> <p>Ⅳ 環境</p> <p>Ⅴ 機能</p> <p>— 当該施設の値</p> <p>— 比較対象(同一分類)の他施設の平均値</p>						歳出		当該施設	同一中分類平均
						歳出合計		182 千円	903 千円
						内訳	人件費	64 千円	136 千円
							需用費	34 千円	443 千円
							委託料	0 千円	123 千円
							土地・建物賃借料	84 千円	18 千円
							工事請負費	0 千円	181 千円
							その他維持管理費	0 千円	1 千円
							指定管理料等	0 千円	0 千円
						延床面積あたり(縦棒)		3,138 円	2,747 円
利用者あたり(折線)		939 円	1,084 円						
						歳入		当該施設	同一中分類平均
歳入合計		0 千円	118 千円						
内訳	施設利用	0 千円	19 千円						
	その他	0 千円	99 千円						
	補助金等	0 千円	0 千円						
延床面積あたり(縦棒)		0 円	62 円						
利用者あたり(折線)		0 円	48 円						
■ 供給状況(過去3年間の平均)						【歳出の推移】			
利用実績		当該施設		同一中分類平均					
児童・生徒・園児数		- 人		- 人					
学級数		- 組		- 組					
開館・提供日数		34 日		89 日					
年間延利用者数		194 人		435 人					
年間利用・給食件数		- 件		- 件					
資料数		- 点		- 点					
入居戸数		- 戸		- 戸					
利用者数(縦棒)		194 人		435 人					
1日あたり利用者数(折線)		5 人		5 人					
【利用状況の推移】						【歳入の推移】			
									
凡例		利用者数(縦棒)人		1日あたり利用者数(折線)人		凡例			
						当該施設			
						分類平均			

Ⅲ．施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)		
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】		
		
【当該施設の評価】 B1		
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】		
		
【当該施設の評価】 D1		
区分	対応	方向性の考え方
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする
B1	向上	施設性能の向上を検討する
B2	向上	費用対効果の向上を検討する
C1	改善	施設性能の改善を検討する
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する
C3	改善	費用対効果の改善を検討する
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である

Ⅳ．機能及び施設の現状と課題		
■ 現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)		
課題	消防団の活動拠点であり、火災等の災害対応において重要な拠点でもあることから、存続していく必要が極めて高い。	老朽化が懸念されるため、計画的に改修・建替えを検討していく必要がある。
対応方針	予測できない災害発生に対応していくためにも、現在の機能を維持していく必要がある。	当面は現状維持であるが、災害発生時には活動拠点となることから計画的に改修・建替えを実施する。

# 施設カルテ（調査票）

南部第7分団

令和 5 .3.31時点

## I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称	南部第7分団		会計名	普通会計				
	施設番号	117		カルテ番号	108-030020-01-021				
	所在地（地番又は住所）	野894-1		所管課	消防本部				
	大分類	行政系施設		中分類	消防施設				
	延床面積施設計	57.96	m <sup>2</sup>	敷地面積	244.10	m <sup>2</sup>			
	建物所有状況	市所有		土地所有状況	借地				
	うち借受建物面積		m <sup>2</sup>	うち借地面積	244.10	m <sup>2</sup>			
	小学校区	埼玉小学校通学区域		中学校区	埼玉中学校通学区域				
	管理形態	直営		配置形態	単独				
	指定管理・委託先名								
	複合・併設の状況								
避難所指定	なし		駐車可能台数	5 台					
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	南部第7分団器具置場		主体構造	W	階数(地上・地下)	2	0
		大規模改修実施年度	2008	延床面積	57.96	m <sup>2</sup>	建築年度	1978	年度
		耐震診断・耐震補強	—		—		経過年数	44	年
	2	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	3	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	4	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	5	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	6	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	7	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	8	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	9	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	10	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m <sup>2</sup>	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運営 人員	正規職員数	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
人件費		64	64	64	65
需用費【光熱水費】		34	26	37	38
需用費【修繕料】		0	0	0	0
需用費【その他】		0	0	0	0
委託料（施設維持管理）		0	0	0	0
指定管理料		0	0	0	0
土地建物等賃借料		84	84	84	84
工事請負費		0	0	0	0
その他維持管理経費		0	0	0	0
①歳出合計		182	174	185	187
施設利用収入		0	0	0	0
その他の収入		0	0	0	0
補助金等収入		0	0	0	0
②歳入合計		0	0	0	0

財務 指 標	施設収支（①-②）	182	千円	収支割合（②÷①）	0.0	%
	利用者あたりコスト	939	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	3,138	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

### Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設 利用 状況	児童・生徒・園児数		人	人	人
	学級数		組	組	組
	開館・提供日数	27	日	32	日
	年間延利用者数	101	人	166	人
	年間利用・給食件数		件	件	件
	年間貸出資料数		点	点	点
	入居戸数		戸	戸	戸

運営情報	設置目的	消防団活動拠点とするため。					
	設置根拠（設置条例等）	行田市消防団規則第17条					
	業務内容等	消防団活動拠点					
	目的外使用	無		目的外の内容			
	運営時間（平日）	0　：　00　～　24　：　00		運営時間（休日）		0　：　00　～　24　：　00	
その他制限等	建物解体等の制限	無					
	その他特記事項						

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	194	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	34	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

### Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成19年度以降に修繕を行っていない、又は平成18年度以前に修繕を行っている。 2：平成19年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成18年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	20年度改修工事実施済。
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に工事を行っていない、又は平成4年度以前に工事をやっている。 2：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がない。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
		1	
		備考	
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	近年の酷暑等、様々な環境下で活動する消防団の拠点だが、エアコン等が未設置で健康管理に苦慮。
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5	
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5	
		備考	
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		5	
		備考	



# 施設カルテ（調査票）

## I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報2	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	11 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	12 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	13 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	14 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	15 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	16 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	17 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
18 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
19 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
20 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	

## V 施設現況

施設写真

